
【集合】 合同・やさしい日本語

● 研修のねらい

・県内在住外国人に、自治体が発信する情報を確実に届けるため、行政窓口等で使う「分かりやすく、やさしい」日本語を習得する。

● この研修のおすすめポイント

・日本語を話せる外国人は、読み書きも完璧にできると思い込んでいませんか？
・在住外国人の7割以上が、大事なことは「やさしい日本語」で書かれてあれば理解できると答えています。
「やさしい日本語」は、日常的にも災害などの緊急時にも命を守る大切なツールです。

● 日程・開催場所

令和6年6月19日（水） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

● 予定人員

30人（県10人、市町20人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《ひろしま国際センター日本語常勤講師 犬飼 康弘》

広島大学大学院教育学研究科博士課程前期修了。在学中から地域日本語教室に参加するなど、地域との関わりを持つ。1997年より（公財）ひろしま国際センターにて日本語教育に従事。対象者は、留学生、技術研修員など様々。

地域においても、広島県内を中心に、日本語ボランティア講座等を担当。2015年度より一般財団法人自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー、2016年度より文化庁地域日本語教育スタートアッププログラム日本語教育施策推進アドバイザーを務める。

● 標準プログラム

1日 合計3.0時間

13:25 - 13:30 オリエンテーション

13:30 - 16:30 ・やさしく言い換えるポイント
・言い換え練習・演習

◇受講者の声

・「やさしい日本語」を使う際のポイントを実感しながら学ぶことができた。
・「やさしい日本語」を習得するための最初の講座として、とてもよい講座でした。講師の方の説明も、日本語を外国人に教えておられるとあって、とても分かりやすかった。